



松盲だより

長野県松本盲学校
令和6年10月18日

<8月～10月の学校生活から>

○ 新校旗の寄贈式

本年度は二期制になって3年目を迎えます。9月30日に前期終業式・後期始業式を行いました。その際、同窓会から寄付をしていただいた新しい校旗が、土屋同窓会長様から全校児童生徒に紹介されました。今までの校旗は今から91年前、校名が現在の「長野県松本盲学校」になった昭和8年に作られました。新しい校旗と並ぶとその歴史の古さをひしひしと感ずります。鮮やかな濃紫色の新校旗、学校の宝として長く大切に使用していきたいです。



○ 全国盲学校フロアーバレーボール 全国大会出場



今年は、昨年度に引き続き長盲との合同チームで北信越代表として出場し、全国から集まってきた強豪ぞろいのチームと対戦してきました。初戦から優勝候補の強豪校と激突。一進一退の攻防を繰り広げましたが、惜しくも敗退となりました。限られた機会の中で練習を重ね、保護者の皆さまを始め、多くの方々の協力を得ながら当日を迎えることができました。全国各地の盲学校の生徒と交流を持てたことも、うれしい思い出の一つになったようです。

○ パラリンピック観戦

本校卒業生の平林太一さん、この夏すっかり時の人となりました。彼が出場したパリ2024パラリンピックのブラインドサッカー、夜間の試合だったので、本校では寄宿舎の児童生徒の皆さんと体育館で観戦をしました。結果は残念でしたが、選手の一挙手一投足に大きな声援を送り、太一さんを含め、選手の頑張りにたくさんの勇気をいただきました。太一さんも言っていました、4年後のロスでさらに活躍ができるように、引き続き応援していきたいです。



○ 水仙祭



数年ぶりの一般公開、ステージ発表は立ち見が出るほど多くの方に見守られながら行うことができました。午後のそれぞれのブースも大盛況。PTAの役員の方々にもお力添えいただき、4月から少しずつ準備を進めてきましたが、全員の頑張りで見事笑顔いっぱいの日にすることができました。初めて盲学校を訪れたという一般の方もいらして、本校のことを知っていただくいい機会にもなりました。

○ 城東の皆さん、地域のシルバーの皆さんに感謝です

9月は、城東公民館の方々による草取りを実施していただきました。早朝から多くの地域の方が来校され、校庭の草を丁寧に取って除いてくださいました。10月には地域のシルバーの方々に来てくださり、校庭や畑の草を取っていただきました。どちらもコロナの期間中も途絶えることなく行っていただき、普段本校の子どもたちや職員だけではやり切れない部分も丁寧に対処していただきました。作業後のきれいになった校庭や畑を見た子どもたちから、自然と「ありがとう」の声が聞こえてきました。本校にとって、本当に大きなお力添えになっています。



ありがとうございました。

旭町小学校との日頃からの交流もそうですが、地域の方々を支えられながら、盲学校の子供たちは成長させていただいていることを実感するひと時になりました。

今後ともよろしくお願いたします。

長野県松本盲学校
校長 小林 宏樹
担当 小松 秀樹 (教頭)
TEL 0263-32-1815